

第24回文京区 「図書館を使った調べる学習コンクール」 を開催しました

「図書館を使った調べる学習コンクール」は、子どもたちが身近な疑問や不思議に思うこと、興味があることについてテーマを決め、図書館等を活用して調べ、レポート等にまとめることで、楽しく充実した学びを実現し、将来に向けて豊かな学習観・読書観を育むことを目指しています。

本年度は区内小中学校から2,467点の作品が集まりました。子どもたちの豊かな着想から始まった探究心は、図書館の本だけにとどまることなく、新聞やインターネット、更には実験やインタビュー、フィールドワーク等、どこまでも広がっていきます。生きものの観察を毎日続けたり、家族や地域の人、専門家に直接インタビューをしたりするなど、まわりの人の協力も得ながら、粘り強く行動する姿もありました。「調べる学習」を通じて、身の回りに起きた小さな疑問は、やがて大きな発見につながり、まとめられたレポートには、子どもたちの素晴らしい感性が詰まっています。

このたび、寄せられた作品の中から優秀作品を選考し、11月4日に表彰式を行いました。区の入選作品22点は全国大会へと出品されました。

さあはじめよう「調べる学習」の4つのステップ 区立図書館では、子ども達の調べる学習を支援しています。いつでもご相談ください。



1. テーマを決めよう

疑問やふしぎをさがしてみよう！



2. 図書館で調べる

地域の図書館や学校図書館で調べてみよう。見つけた本の名前は書いておこう。



3. もっと調べる

まちや自然のなかにもでかけよう！図書館では調べきれない発見があるよ。考えたことをメモしておこう。



4. 書いてまとめよう

友だちに自分が調べたことを教えてあげるつもりでまとめよう。

画像：公益財団法人図書館振興財団ホームページ(<https://concoours.toshokan.or.jp/application/>)より



▲賞状授与



▲表彰式の様子



▲区長賞作品

第24回 文京区「図書館を使った調べる学習コンクール」入選作品一覧

賞	作品タイトル	氏名(敬称略)	学校名	学年
区長賞	わたしの町のツバメはどこへ行く？おいかけてみた！	安井 涼華	青柳小学校	2
	ぼくちのおにぎり	小海 拓士	昭和小学校	4
	牛乳を飲んで飲むことには効果はあるの？	竹内 応輝	湯島小学校	5
	「レモン〇個分」のビタミンCって？	鈴木みらい	本郷台中学校	2
教育長賞	これを読めばモテる！！かも…	萩原 想也	誠之小学校	2
	私の骨折体験記～本当に骨はくっつくの？～	浅田 詩絵	湯島小学校	3
	見つけた！環境ラベル みつめる環境問題	金澤 ふみ	大塚小学校	6
	海にあふれるプラスチック	岩崎 紗友	第九中学校	1
特別賞 奨励賞	電波の大研究 電波を作ってみよう	勝本 在	根津小学校	3
	フードロスをやっつけろ！！	谷井 文音	昭和小学校	1
	蚊にまつわるちょうさーてきを知り、おのれを知るー	匂坂 瑞花	筑波大学附属小学校	1
	こおりがパチパチなるひみつ	一色 和真	大塚小学校	2
	じしんにそなえよう！！そなえあればうれいなし！！	谷井 華英	昭和小学校	2
	信号ってスゴイ！～身近だけど知らなかった交通信号のこと～	山田 陽香	林町小学校	3
	東京五輪 1964年から2020年はどう進化したのか	長塚 和	金富小学校	4
	十円玉調べ	神辺 桃李	千駄木小学校	4
	最強のおとも～未来のアイテム スマート白杖～	河合 慧音	湯島小学校	5
	絶滅危惧種のウナギを守りたい	佐藤信治郎	誠之小学校	5
	環境問題とSDGsーウミガメの視点からー	佐藤 千惺	礪川小学校	6
	そうだったんだ！お札のこと	和田 彩葉	明化小学校	6
	色の不思議と効果	大崎 蒼馬	駒込学園駒込中学校	1
	錯視の謎	(希望により不掲載)	跡見学園中学校	2

1

特集

文京区「図書館を使った調べる学習コンクール」を開催しました

2

「Society5.0の教室」推進委員会の実践を紹介します！

コラム 健康・体力アップ！のヒント

3

文京文化財探訪
文京ふるさと歴史館収蔵品展
「杉田直樹と仲間たち 文三、潤一郎、茂吉」

本郷児童館によるこそ

図書館に行こう(第3回)

4

きあら映えスポット

4

学校給食おすすめレシピ
「高野豆腐の揚げ出し」

東京大学総合研究博物館
スクール・モバイルミュージアム
「東大地質図コレクション」を教育センターで開催しています

編集後記

「Society5.0の教室」推進委員会の実践を紹介します！

「授業におけるタブレット端末の効果的な活用場面の検討・実践及び実践事例の区内での共有」を目的に、「Society5.0の教室」推進委員会を立ち上げています。今号では実践例を紹介します。

小学校6年 算数科「割合の表し方を調べよう」(習熟度別授業)

ICTの活用の工夫

補充コース→自分のノートを撮影してTeams(※1)に投稿し、全体に示しながら自分の考えを説明した。

基本コース→ムーブノート(※2)を活用し、自分の考えを投稿するだけでなく、友達との共通点や相違点に着目して分類した。

発展コース→表現手段をタブレット端末・ノート・ホワイトボードから選択し、友達に分かりやすく説明した。

成果

児童はたくさんの考えにふれることができ、自分の考えを広げたり深めたりすることができた。自分にも相手にも分かりやすい説明の仕方を考えることができた。



▲【基本コース】考えを共有し、分類しているようす



▲【補充コース】友達の考えを共有しているようす

※1 Teams

オンラインを活用した授業や協働作業ができるコミュニケーションツール

中学校1年 技術科「材料と加工の技術の原理・法則と仕組み」

ICTの活用の工夫

①教員が、Teamsを活用して身の回りの製品の機能や構成についてパワーポイントの資料を作成する課題を出した。

②生徒が、身の回りの製品を探して、画像を添付し、説明文を書いた。

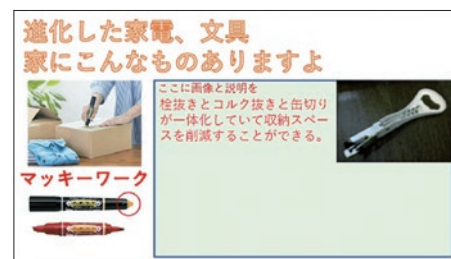
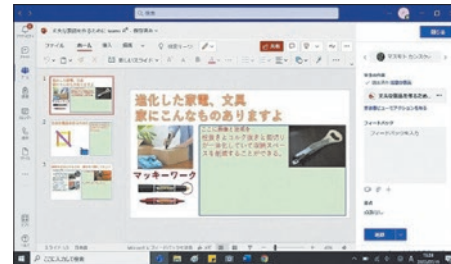
③生徒が、タブレット端末で自分の作成したカードを見せながら発表した。

成果

授業時間外でも提出が可能となるため、じっくり取り組みたい生徒は時間をかけて作成し、提出することができた。

※2 ムーブノート

入力したテキストから特定のキーワードを含むものを素早く集計・把握するためのアプリケーション



教育指導課 ☎03(5803)1300

コラム 健康・体力アップ! のヒント

教育センターでは、順天堂大学スポーツ健康科学部の協力のもと、「子どもの健康・体力づくり」に関する取組を行っています。今号では、「子どもの健康・体力づくり」をテーマにしたコラムを掲載し、子どもたちの健康・体力アップのヒントを紹介します。

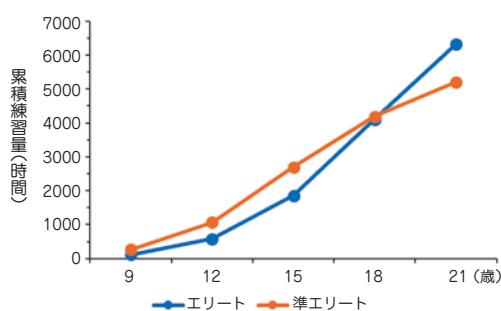
大人が支える子どもの発育発達環境 ～大人の考え方ひとつで子どもは変わる～ 順天堂大学スポーツ健康科学部

前任准教授 鈴木 宏哉

誕生月がスポーツでの活躍と関連しているという報告があります。年齢ごとに選手を選抜する際に、早生まれ(1、2、3月生まれ)は不利に働き、4、5、6月生まれは有利に働くといった結果です。指導者は同じ学年の選手を選抜する際に、体格・体力的に優れた早熟な選手を選抜する傾向にあるということです。

また、青少年期の練習量について重要な研究があります。成人のエリート選手とそこまですれ違った準エリート選手の累積練習量を比べると、成人期の累積練習量はエリート選手の方が多いのですが、幼少期以降15歳頃までの大半の時期において、最終的に選択することになるスポーツ種目の練習時間がエリート選手よりも準エリート選手の方が多かったのです(図参照)。この研究は子どもの頃の練習量の多さが競技の最終的な成功を保証しない、あるいは妨げになることを示唆します。皮肉を言えば、育成年代の指導者が短期的に競技的成果をあげたければ、体格的に

優れた子どもを選抜し、対戦相手よりも多く練習させることにつきます。しかし、早熟な選手が最終的に優れた選手になるとは限らず、そのような指導は将来性のある選手を見落とし、成人期のエリート選手育成を妨げるという皮肉な結果をもたらす可能性があります。晩熟な選手がスポーツから離れていくことにつながります。



引用: Moesch et al. Late specialization: the key to success in centimeters, grams, or seconds (cgs) sports. Scand J Med Sci Sports. 2011 Dec;21(6):e282-90. PMID: 21401722.

スポーツ庁は子どもの体力や運動・スポーツ習慣を長期にわたって調査しています。その結果を要約すると、約40年前の子どもは体力が高く、約20年前の子どもは体力が低く、最近はやや改善気味だが、運動する子どもとしない子どもの体力の差が広がっている状況です。習いごとやスポーツ組織に加入している子どもは運動量を確保できている一方で、そうでない子どもが運動量を確保しにくい社会になっています。運動・スポーツに興味関心の低い子どもをどのように運動・スポーツへ誘うか、スポーツ庁も頭を悩ませています。

日本では、「現役引退」を、競技を極めたトップ選手が心身の限界を感じたときだけでなく、受験を控えた中学3年生や高校3年生に対しても用いられます。そこには、運動部活動が競技を極めることに主眼を置いている実

態が垣間見えます。限界に挑戦したり、身体を追い込んだりすることをしない、ゆるい実践者は悪なののでしょうか。B級スポーツ、ゆるいスポーツ、ちょいスポーツではダメなののでしょうか。スポーツという言葉の由来、気晴らし、遊びといった本来の意味を取り戻す必要があると思います。

例えば、どこでも楽しめる遊びに「スカベンジャーハント」があります。スカベンジャーハントは野外活動などで楽しんでいる遊びです。がらくた集めとも呼ばれていることから分かるように、屋外や身の回りにある物を探し歩く遊びです。スタンプカードのように厚手の紙にイラストや物の名前を書いて、見つけたらシールを貼ったり、レ点をつけたりします(写真参照)。探しにくい物や遠い所にしかない物を題材にすると、自然と運動量が増えますし、友達同士でチームに分かれて競争することもできます。ピンゴゲームのようにマスの中に探し物を書いて、縦や横に揃ったら勝ちといったアレンジもできますし、探し物を見つけたときにスマホやタブレットPCで撮影するというルールにすることもできます。ペアやグループで探すことで、友達同士のコミュニケーションも自然に増えます。探す物を具体的に示さずにヒントだけ伝えるようにすると、考える力も醸成されるかもしれません。



▲写真、スカベンジャーハントカードの例

教育センター学校支援係 ☎03(5800)2591



文京ふるさと歴史館収蔵品展 「杉田直樹と仲間たち 文三、潤一郎、茂吉」

文京ふるさと歴史館で所蔵する杉田家資料は、府立松澤病院副院長、名古屋帝国大学教授などを勤めた精神病学者、杉田直樹(1887~1949)の御遺族から寄贈を受けた資料です。若い頃に文学の道を志した杉田の仲間たちには、詩人の江南文三、作家の谷崎潤一郎、歌人の斎藤茂吉など、文人として名を成した人も多くいました。

今年度の収蔵品展では、杉田家資料を中心に、江南、谷崎、茂吉それぞれの初公開となる直筆資料などから、杉田と仲間たちの交流の様子を紹介します。

Information 開催情報

文京ふるさと歴史館収蔵品展
「杉田直樹と仲間たち 文三、潤一郎、茂吉」

会期 2月11日(土)~3月19日(日)

開館時間 10:00~17:00

休館日 毎週月曜日

入館料 一般100円/団体(20人以上)70円

中学生以下・65歳以上・友の会会員は無料

会場 文京ふるさと歴史館 文京区本郷4-9-29

URL <https://www.city.bunkyo.lg.jp/rekishikan/>

※企画等が中止、変更となる場合があります。詳しくは文京ふるさと歴史館のホームページなどでご確認ください。



▲杉田直樹宛谷崎潤一郎葉書(明治42年)



▲杉田直樹宛斎藤茂吉葉書(大正11年)



▲第一高等学校文芸部写真(前が杉田、後が谷崎)

文京ふるさと歴史館 ☎03(3818)7221

本郷児童館によようこそ

所在地 本郷5-30-8 開設 平成4年11月1日 ☎03(5689)4570



区立児童館を
紹介します



このコーナーでは、区立児童館を紹介します。今号は、本郷児童館です。

本郷児童館について... 本郷児童館は、本郷3丁目駅から徒歩10分程歩いた東大の赤門からすぐの場所にあります。本郷育成室を併設しており、公園も近いことから乳幼児さんから小学生まで多くの子どもたちの居場所となっています。青少年健全育成会と共催している行事にも参加し、ゲームコーナーや工作コーナーを担当するなどして、日常的に地域との連携を取りながら運営をしています。

また、地下1階から3階と区内の児童館でも一番大きい施設であることも特徴の一つです。

児童館の様子・活動

(乳幼児活動) 地下1階にあるあかちゃん広場には、主に0才から2才までのお子さんが楽しめるおもちゃや絵本、遊具があります。2階の図書室では玩具(ままごと・プラレール・トミカ・シルバニア)、絵本などで和やかに過ごし、3階ホールではコンピカー・すべり台・トランポリン・三輪車などで元気に遊んでいます。

企画行事として、毎週火曜・水曜に「ひよこひろば」を開催しています。体操・手遊び・読み聞かせ・楽器遊びなどを行い、気軽に参加できる人気の事業です。月に一度の「0,1,2才さんあつまれ」は、予約制でお返事、手遊び、身体測定・足形スタンプなどを行い、同じ月齢のお子さんとその保護者の方に交流していただけます。登録制の幼児クラブ「ちびっこクラブ」はお友だちと一緒に楽しく遠足・季節行事(七夕・夏祭り・運動会・クリスマス等)・工作などたくさん内容のプログラムによりさまざまな体験を通して社会性や自立心を育む事業となっています。

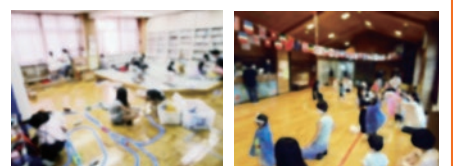


(小学生活動) ホールでは、ドッチビー・三歩ビーが人気です。そのほか、卓球・一輪車・グルボン・王様じゃんけん・ストラックアウトなども好んで行っています。

図書室では、漫画・ボードゲームなどで思い思いにリラックスして過ごしています。

工作室では週替わりの「企画」を行い、お便りを見て楽しみに参加してくれています。そのほかにも、りんごの皮むき・折り紙・ぬりえなどの自由工作をすることができます。

行事では、「オセロ大会」が一番人気で、ほかにもフリスビーを使った大会・ピンゴ大会・季節の行事(七夕・なつまつり・ハロウィン・クリスマス・お正月遊びなど)も参加者が多い事業です。



最後に一言... 児童館では新型コロナウイルスの感染対策に十分配慮し運営しています。そのため、ご利用いただく方々にもマスクの着用や手指の消毒などにご協力をお願いしています。

皆さんが安心・安全に楽しく過ごしていただけるよう職員一同心掛けておりますので、ぜひ一度遊びに来てください。

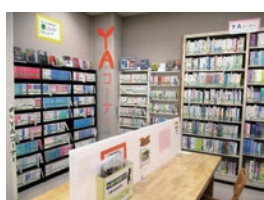
図書館に行こう(第3回)

文京区には8つの区立図書館と2つの区立図書室があります。各館には、児童フロアや中高生のためのYA(※)コーナーがあり、さまざまな本を楽しんでいただくことができます。このコーナーでは各館の魅力を紹介します。第3回は、水道端図書館と根津図書室です。ぜひ、あなたのお気に入りの図書館を見つけてください! 真砂中央図書館 ☎03(3815)6801

水道端図書館(水道2-16-14)

親子で絵本や紙芝居を楽しむことのできるスペースや、季節やテーマごとに変わる特集展示コーナーがあります。おはなし会などの定例行事、映画会や工作会などの楽しい行事も実施しています。

YAコーナー



YAコーナーは2階文庫本棚の奥にあります。趣味・スポーツの

本や小説の他に、進路を考える際の参考になる本も揃えています。

YA特集展示



毎月変わる特集展示を設置しています。小中学生向けのイベント

も実施しています!ぜひ気軽に足を運んでみてください。

季節の特集展示



利用者の作品で装飾するなど、展示パネルにも工夫を凝らした特

集本は大人気です。

YAコーナー



YAコーナーはカラフルな風船が目印です。

また、図書室入口の本棚ではYA向けの特集を随時展示しています。

※YA(ヤングアダルト)・・・主に10代の読者あるいは図書館利用者を図書館界・出版界で呼称するときにする用語

きあら映え
スポット

今号も区立の幼稚園や小・中学校自慢の映えスポットをご紹介します。色とりどりの特色がでていますね！



シンボルの校舎～アールのある校舎

千駄木小学校

千駄木小学校旧校舎理科室のアールのある壁が印象的で、たくさんの千駄木小の子どもたちが親しんでいました。



昼休みの「面白」実験

茗台中学校

定期的に面白実験を行っています。写真では、太陽の大きさを感じる実験で、太陽をバスケットボールのサイズにしたとき地球はどれくらいの大きさになるか。また、LEDでレタスはどう育つかなど楽しさ満載です。

千駄木幼稚園

土と緑の千駄木幼稚園には、園庭に7本のイチョウの木があり、季節の移り変わりを身近に感じさせてくれます。子どもたちは、落ち葉を集めてふかふかのベッドを作って遊ぶことが大好きです。



落ち葉で遊ぼう！

汐見小学校

本校は、児童の放課後の安全安心な居場所として、校内に汐見アフタースクールがあります。様々なイベントやミュージカル教室、フットサル教室などのスペシャルプログラムもあり、異学年の児童が毎日楽しく笑顔いっぱい過ごしています！



笑顔溢れるアフタースクール

学校給食おすすめレシピ

「高野豆腐の揚げ出し」



子どもたちに人気の給食メニューです。崩れることもなく簡単に作れます。おろしだれの片栗粉を入れずに作ると、さっぱりとした仕上がりになります。

- ★材料(4人分)
- 高野豆腐(カルタ形) 4枚
 - 片栗粉 50g
 - 揚げ油
 - 大根 120g

- だし汁 80cc
- しょうゆ 大さじ1と1/2
- みりん 大さじ1
- 酒 大さじ1/2
- 砂糖 小さじ2
- 片栗粉 小さじ1
- 水 少々

★作り方

- ①高野豆腐は水で戻し、半分に切る。
- ②大根はおろす。
- ③鍋で大根～砂糖を煮立たせる。
- ④火を弱め、水溶き片栗粉でとろみをつける。
- ⑤①の高野豆腐の水を絞り、片栗粉をまぶして油で揚げる。
- ⑥揚げた高野豆腐におろしだれをかける。

学務課給食担当 ☎03(5803)1299

東京大学総合研究博物館
スクール・モバイルミュージアム

『東大地質図コレクション』を教育センターで開催しています。

デジタル化の進展とともに「地図」はますます身近なものになり、我々の日常生活においても学術の世界においても欠かせないものになっています。地図には様々な種類があり、地形や建築物等を網羅的に図示した一般的な地形図だけでなく、土地利用図、土壌図、植生図、天気図、海図など特定の目的で作成されるものがあり主題図と呼ばれています。



今回おもに展示する「地質図」は特色ある主題図の代表例であり、有用資源の探索や土木工事の際には必ず必要となる社会基盤情報です。この展示では、東京大学総合研究博物館の地学系部門が所蔵する日本および世界の様々な地質図などの実物と、関連する地質標本(岩石、鉱物、鉱石、化石等)や地質図を作るために用いたフィールドノートなどを展示し、地質図に関する用語の意味、地質図の読み方について解説します。

Information 開催情報

会期 3月31日(金)まで
(日曜、祝日を除く。)
9:00~17:00

会場 教育センター2階大学連携事業室
展示企画 東京大学総合研究博物館
佐々木猛智准教授・三河内岳教授・
清田馨キュラトリアルワーク推進員・
遠藤秀紀教授

対象 どなたでも

費用 無料

申込 不要 直接会場へ

お問合せ 〒113-0034文京区湯島4-7-10
教育センター学校支援係
☎03(5800)2591

※状況により、会場内の人数制限を行う場合があります。車でのご来場はご遠慮ください。

講演会も開催

日程や申込方法、申込締切日等は
文京区教育センターHPでご確認ください。



教育センター学校支援係 ☎03(5800)2591

編集後記

2023年がスタートしました。今号では「図書館を使った調べる学習コンクール」や授業におけるICTの効果的な活用についてお伝えしましたが、いかがでしたでしょうか？今年もさまざまな区の教育の取組みについて発信していきます。

紙面版「文京区教育だより「きあら」第62号」に掲載の「教育センター総合相談事業～悩みがあったらご相談ください～」の記事におきまして、担当係名に誤りがありました。以下のとおり訂正してお詫びします。
誤「教育センター学習支援係」 正「教育センター学校支援係」